



市議会だより

9月

定例会の
あらまし

保育士の処遇改善、青年就農者の確保・育成を図る
一般会計補正予算など

議案21件、陳情2件を議決

9月定例会は、9月4日から9月28日までの25日間の会期で開かれました。
今定例会では、市長提出の13議案と議員提出の1議案、平成28年度一般会計等の歳入歳出決算の認定議案7件、陳情2件を審議し、慎重審議の結果、陳情1件が趣旨採択、そのほかは原案のとおり可決・同意・認定・採択となりました。
一般質問では9人が登壇し、市政運営等について活発な議論が展開されました。



総合防災訓練で、竹と毛布を使い搬送用担架を作る訓練（9月24日、松丘スポーツ広場）

本会議討論



●議案第2号

君津市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対

公立保育園の民営化には反対の立場から、今後、他の公立保育園の民営化策の前例となる条例改正案であるため、反対。

賛成

公立保育園の民営化については待機児童、園舎の老朽化、多様化する保育ニーズなど本市が直面する喫緊の課題に対応するための1つの方策であると考え、本議案における宮下保育園についても、8月31日に新設保育園の整備運営事業者と整備・運営に関する基本協定を締結するなど民営化に向け事業が進展している中、本条例改正は、平成30年4月1日の開園に向け必要な措置であると理解するため、賛成。

●議案第11号

平成29年度君津市一般会計補正予算（第2号）

反対

水道事業統合広域化に係る債務負担行為の34億3千800万円について、統合に際してのメリット、デメリット等、議会での十分な協議、検討がされている。

賛成

ない状況での債務負担行為の設定には疑義が残るため、反対。

君津地域水道事業の統合広域化に伴い、老朽管更新工事等を促進するために必要な予算措置であると理解するため、賛成。

●認定第1号

平成28年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対

学校給食共同調理場整備事業について、これに係る莫大な費用については、見直しが必要と考える。

賛成

業務環境改善事業や里山インバウンドプロジェクトについては成果が出た一方で、課題等も明らかになった事業であったと思うが、今後は、それらの検証結果を踏まえ、所期の目的が果たせるよう課題を解消し、事業を展開していくよう望むものである。

また、ひとり暮らし老人等福祉タクシー事業や市民農園整備推進事業などについては、事業の成果が当初の事業目的のみにとどまらずさまざまな波及効果や、相乗効果が見られた事業であったと感じる。

なお、反対討論があった各事業を含め、全ての事業がおおむね適切に執行されているものと判断する。

●認定第2号

平成28年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

資格証明書の交付を続ける限り反対。

賛成

国民健康保険税を滞納している方への短期保険証及び資格証明書の発行については、公正、適正な取り扱いのためであると理解する。

●認定第6号

平成28年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

制度そのものに反対。

賛成

現在の社会保障制度は、後期高齢者医療制度を前提として、制度設計されているため、将来にわたり国民皆保険制度を維持していくためには、必要不可欠であり、事業も適正に執行されていたと考える。

●陳情第4号

JR内房線・久留里線の利便性及び安全性向上に関する陳情

反対

市議会として、議決し態度を表明する決議にあたっては、内容について不確定要素があり、具体的な問題解決方法の提示が困難である手法を安易に行うべきでないと考え、採択には至らない。

賛成

JRは、多くの市民が必要としている公共交通機関であり、久留里線の便数が減ったことや、木更津止まりの便数が増えたことで、多くの市民にとって利便性が悪くなったことは紛れもない事実であり、市議会としてもJRに要望する必要があると考える。
※議案の審議結果については、8ページに掲載しています。

正副議長
委員会委員長などを選出

正副議長就任あいさつ



池田 文男 副議長



鈴木 良次 議長

私どもは、平成29年9月の市議会定例会において、議員各位のご推挙をいただき、第27代議長ならびに副議長に就任いたしました。

その職責の重さに身が引き締まる思いであり、改めて市政の発展と市民福祉向上に誠心誠意、努力する所存であります。

議会は、住民自治の根幹をなす機関として、市の施策や、計画などに関する最終的な意思決定機関及び行政の監視機関として、また、政策立案の能力向上についても求められており、その責務は重大であります。

そのような中、君津市においても解決しなければならない課題が山積しており、議会に対する市民の皆様期待も大きいものと感じております。

私ども市議会としては、幅広い正確な情報を持つて、市民の皆様の負託に応える議決機関として全力を尽くすとともに、議会改革をより一層進めてまいる所存でありますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

常任委員会

議会運営委員会

経済環境

教育福祉

総務



委員長
保坂 好一



委員長
橋本 礼子



委員長
高橋 明



委員長
三浦 章

副委員長	松本 裕次郎
委員	船田 兼司
委員	須永 和良
委員	加藤 喜代美
委員	真木 好朗
委員	榎本 貞夫
委員	三浦 章

副委員長	野上 慎治
委員	鈴木 良次
委員	下田 剣吾
委員	石上 壘
委員	平田 悦子
委員	安藤 敬治
委員	小林 喜久男

副委員長	奈良輪 政五
委員	佐藤 葉子
委員	三浦 道雄
委員	池田 文男
委員	磯貝 清
委員	小倉 靖幸
委員	鵜田 剛

副委員長	榎本 貞夫
委員	奈良輪 政五
委員	保坂 好一
委員	橋本 礼子
委員	加藤 喜代美
委員	高橋 明
委員	磯貝 清

野上慎治、平田悦子
保坂好一、加藤喜代美
真木好朗

消防委員会

橋本礼子

千葉県
後期高齢者医療
広域連合議会

下田剣吾、船田兼司
佐藤葉子、石上壘
小林喜久男、鵜田剛

君津富津広域下水道
組合議会

須永和良、小倉靖幸

君津中央病院
企業団議会

鈴木良次、小倉靖幸

君津郡市広域市町村圏
事務組合議会

三浦章

君津広域水道
企業団議会

磯貝清

監査委員

君津市議会についてホームページでも情報を公開しています

会議のお知らせ	— 本会議・常任委員会 特別委員会 先進地視察報告会
議長・副議長	— 議長あいさつ 歴代正副議長一覧 議長交際費
議員の紹介	— 議員名簿 委員会名簿 会派名簿 議席一覧
議決結果・会議の結果	— 議案等の処理結果一覧
市議会のしくみ	— 市議会の概要 市議会の運営 市議会の傍聴
請願・陳情	— 請願・陳情の提出方法
政務活動費	— 政務活動費収支報告書 会派視察報告
行政視察	— 行政視察報告

などについて掲載していますので、ご覧ください。



委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案及び陳情をそれぞれ審査しました。
主な議案等の審査概要は、次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果(8ページ)を参照してください。

総務常任委員会

審査案件 議案第1号、議案第7号、
議案第11号、陳情第4号

◆議案第1号

〔内容〕個人情報保護に関する法律及び行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、個人情報保護を図りながら、その適正かつ効果的な活用による活力ある経済社会と豊かな国民生活の実現に資するため、個人情報の範囲を明確にするもので、それに合わせて君津市個人情報保護条例及び君津市情報公開条例の一部を改正しようとするもの。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第7号

〔内容〕軽自動車の登録台数が大幅に増加したことにより、千葉県町村会による軽自動車税の賦課徴収に関する申告書の受付事務の継続が困難となつたことから、平成30年4月1日から、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務に追加するために、組合規約の一部を改正することについて、協議があつたことから、議会の議決を求めようとするもの。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第11号

〔内容〕君津地域水道事業の統合広域化に伴う債務負担行為の補正について、老朽管更新工事等を促進する出資を行うため、平成29年度から平成40年度までの期間において、限度額を34億3千800万円とする、債務負

担行為を設定しようとするもの。

〔問〕 統合広域化する近隣市の出資金とその算出方法について何う。

〔答〕 出資金については総務省が定める繰り出し基準に基づき統廃合事業における近隣市の配水量の案分や老朽管の更新状況、施設の整備水準の違いなどにより、木更津市7億8千300万円、富津市30億6千万円、袖ヶ浦市9億8千500万円とそれぞれ算定されている。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆陳情第4号

〔反対討論〕

現在、市も県を通してJRに対して要望活動を毎年行っていること、また、JRも民間企業であり、採算の取れない路線の縮小化はやむを得ない面も考慮し、こうした状況においては先の要望活動などに加え、現在行っている久留里線活性化プロジェクトによる久留里線の活性化策など、行政が中心となつて利用客数を増やす施策を地道に継続していくことが、本陳情の願意達成につながると考えることから採択には至らない。

〔賛成討論〕

市が既に要望していることについては議会としても後押しする必要性があることや、他市においても廃止されたみどりの窓口の復活を求める陳情などが提出されていることから、本市においても検討段階とはいえども、廃止になる前に存続を求めるべきである。(可否同数のため、委員長裁決により、不採択すべきものと決定)

教育福祉常任委員会

審査案件 議案第2号、議案第3号、
議案第6号、議案第11号、議案第12号、陳情第6号

◆議案第2号

〔内容〕君津市立宮下保育園は民営化により、新たな保育園として、平成30年4月1日に開園することから、君津市立宮下保育園を廃止するため、君津市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正しようとするもの。

〔問〕 条例の改正時期について何う。

〔答〕 新保育園への入園手続きは10月から始まるため、園児募集に係る周知期間等を考慮し、本定例会に提案した。(賛成多数で可決すべきものと決定)

◆議案第3号

〔内容〕地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律による、介護保険法の一部改正に伴い、被保険者等に関する調査に従わなかつた場合などにおける過料の対象者の範囲を拡大するため、君津市介護保険条例の一部を改正しようとするもの。

〔問〕 過料の対象を全ての被保険者へ拡大する根拠について何う。

〔答〕 介護保険法が改正され、質問調査権が及ぶ被保険者の範囲が拡大されたことに伴い、過料の対象者の範囲も拡大されたものである。

〔反対討論〕

本条例の改正は過料の対象者の範囲拡大という罰則規定の強

化であり同意できない。

〔賛成討論〕

介護保険法の改正に基づくものであり、法律との整合性を図る観点から、本条例の改正は必要な措置であると理解する。(賛成多数で可決すべきものと決定)

◆議案第11号

〔内容〕補正予算の主なものとして、放課後児童健全育成事業について、保護者等の運営する団体への補助に係る経費として、クラブ数及び児童数の増加により、568万4千円を、また、国の子ども子育て支援制度において、保育士の処遇改善加算項目が新たに追加されたことに伴い、その加算額を算定するためのシステム改修を行う経費として、199万5千円をそれぞれ増額する。財源は、国庫補助金578万3千円及び一般財源である。

また、民間保育園に勤める保育士の処遇改善を図るための経費として、民間保育園運営費補助金を276万円増額する。財源は、県補助金138万円及び一般財源である。

〔問〕 民間保育園運営費補助金の増額補正に関して、対象となる保育士の範囲について何う。

〔答〕 対象となる要件については、1日6時間以上かつ1ヵ月20日以上勤務が必要となる。(全会一致で可決すべきものと決定)

経済環境常任委員会

審査案件(議案第4号、議案第5号、
議案第8号ないし議案第11号)

◆議案第4号

〔内容〕都市公園の敷地面積の標準を見直し、また、その敷地面積に対する当該都市公園の運動施設の割合を条例で定めるもの。

〔問〕 都市公園における運動施設について何う。

〔答〕 内みのわ運動公園における体育館、テニスコート、屋外プールなどがこれに当たり、運動施設の公園の敷地面積に対する割合は39パーセントであり、条例に規定しようとする制限50パーセント以内である。(全会一致で可決すべきものと決定)



内みのわ運動公園体育館

◆議案第8号

〔内容〕水道事業会計における、平成10年度以降の水道料金債権について、公法上の債権である、下水道使用料の時効に合わせ5年経過後に不納欠損処理を行い、簿外資産として債権を管理している。しかし、回収の見込みが立たない債権であり、水道事業の統合・広域化も控えていることから、権利を放棄するため、議会の議決を求めるもの。

〔問〕 簿外管理している水道料金の徴収方法について何う。

〔答〕 私債権である水道料金については税と異なり、強制的に調べる事ができないことや、水道の申込みには住民票の提出を求めていることから追跡調査は難しい。しかし、可能な限り調査を行うことで徴収率は99パーセントを超えるなど近隣市の中でも高く、十分な徴収努力を行った結果と考えている。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第11号

〔内容〕補正予算の主なものとして、国が進める「女性の一人ひとり」が自らの希望に応じて活躍できる社会づくりの具体的取り組みとして、希望する者のマイナンバーカード等へ旧姓を併記できるよう住民記録システムの改修等を行うための経費として、住民基本台帳事務関係事業に921万3千円を増額する。財源は、全額国庫補助金を充てるものであり、交付される補助金の範囲内で順次改修をしていく。また、農業施設等の保全や長寿命化を図る活動組織を支援する、多面的機能支払交付金事業については、下湯江、鎌滝、根本、東猪原、戸崎箕輪の6地区に新たに組織が設立されたことから、交付金を支給するための経費として、1千541万6千円を増額する。財源は、県補助金1千156万3千円、及び一般財源である。

〔問〕 住民基本台帳システムの予算の範囲での改修について何う。

〔答〕 既存システムに新たな記載事項を加えるための改修であり、段階に応じた改修が可能である。

〔問〕 多面的機能支払交付金事業の交付対象となる活動や事業の周知方法について何う。

〔答〕 農業者が地域ぐるみで活動組織を構成し、農地、農道、水路等を維持管理するための取り組みに交付するもので、土地改良の研修や本交付金事業に係る地元での説明会を通して事業の周知等を行っており、利用者の拡大を図っているところである。(全会一致で可決すべきものと決定)



園児を見守る保育士



市政を問う!

一般質問 Q&A

第3回定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。
各議員による質問の大綱と主な質問・回答を通告順に掲載いたします。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

石上 壘議員(きみつ未来)



- ・第2次まちづくり実施計画について
- ・津市スポーツ推進計画について
- ・安全安心に暮らせる自然と共生するまちについて
- ・保育環境整備について
- ・高齢者福祉について

スポーツ振興・環境整備

Q 来年開催予定の世界女子ソフトボール選手権大会における、代表強化合宿の受け入れ予定について、また、スポーツ施設の環境整備について見通しを伺う。

A 7月に受け入れたニュージランド代表は選手権大会出場が有力視されているため、キャンプ場誘致に向け努めていく。また、今年度、市民体育館の吊天井改修工事に向けた実施設計をはじめ、小櫃スポーツ広場・グラウンドゴルフ場・久留里市民プール・小糸スポーツ広場などの修繕や改修を実施した。今後は、既存施設の機能を最大限発揮できるよう、適正な整備を検討していく。

宮下保育園民営化の進ちよく状況

Q 民営化に向けた進ちよくと今後の予定について伺う。

A 民間移管する新保育園の整備、運営に関する基本的事項の協議が整い、社会福祉法人どんこ会と協定を締結した。事業者は開園に向け7月から地元保育士採用の説明会を定期的に開催している。園舎建設工事は9月21日に入札を行い、平成30年2月末に竣工予定である。

介護予防・日常生活支援総合事業

Q 平成27年4月の制度改正により、サービス提供事業者が既存の介護事業所から拡大されたが、本市での状況について伺う。

A 現在は従前のサービスを提供している。この事業は、地域の特性に応じさまざまな団体が主体となる各種サービスの実施が求められている。取り組むサービスの選定や基準、単価設定の在り方などの課題もあるため、先進市の実施方法を参考に、多様なサービスをできるよう研究している。

松本 裕次郎議員(きみつ未来)



- ・行政運営について
- ・防災対策について
- ・都市基盤の整備について
- ・高齢者福祉について

行政運営

Q サウンディング型市場調査を旧南子安職員住宅など3施設で行ったが、その後の進ちよく状況について伺う。

A 有効活用方法についてサウンディング型市場調査による事業者提案を参考に処分する方向で手続きを行っている。

Q 清和地区で公共施設のこれからを考えるワークショップが開催されるが、どのようなことが期待できるのか伺う。

A 清和地区は小学校等の施設の活用等を含め、地域の在り方について市民と対話をし、良い案をお互いに議論していきたいと考えている。

Q 清和地区以外でのワークショップの開催について、考えを伺う。

A 今後は、同様の課題を抱える小糸、小櫃、上総地区についても、次年度以降、順次開催する予定である。

高齢者福祉

Q ひとり暮らし老人緊急通報システムで実際に助かった例はあるのか伺う。

A この通報システムを利用することにより、年間で20名近くの方の命が救われている。現場に急行するとともに、消防署への緊急要請を行い、病院に搬送したという事例もある。

Q ひとり暮らし老人通報システムが有効に活用されていることが理解できた。これからは、高齢者世帯が増えている中で、高齢者の二人暮らし世帯にも対象を広げることができないのか伺う。

A 高齢者夫婦世帯については、ひとり暮らし高齢者と同様に見守りが必要な世帯もあると考えているため、他市の状況を把握し、研究していく。

佐藤 葉子議員(公明党)



- ・空き家・空き地対策の充実について
- ・新たな住宅セーフティネット制度について
- ・女性の視点を生かした防災対策について
- ・未来を担う子どもを育む環境づくりに関して

空き家等の利活用と条例制定

Q 増え続ける空き家や空き地をまちづくりの資源と捉え、条例の制定、利活用の促進をすべきと考えるが、見解を伺う。

A 現在、市で実施している空き家バンク制度などの空き家等の利活用に資する事業との連携を考慮し取り組む。

Q 空家対策等の推進に関する特別措置法に含まらない空き地等に対しても条例に盛り込み、発生抑制・利活用を推進すべきと考えるが、見解を伺う。また、条例の制定時期を伺う。

A 条例にどこまで盛り込むことができるか今後検討する。今年度中に条例制定に向けての庁内組織を立ち上げ、できるだけ早い段階での条例制定を目指したい。

住宅確保の支援策を

Q 新たな住宅セーフティネット制度は空き家や空き室を住宅確保が困難な世帯向け住宅として登録し、低所得者等が入居する際、国や県が家賃や家賃の債務保証料等を補助する制度である。準公営住宅と位置づけられて供給できる体制を整えるべきと考えるが、見解を伺う。

A まずは、千葉県住まいづくり協議会居住支援部会と連携し、制度の情報収集に努めていきたい。

学校図書館の整備・充実

Q 読書活動は、全ての学びの支えとなる重要な事業である。これを担う学校司書補助員のさらなる資質向上の研修や勤務時間の確保について伺う。

A 学校現場のニーズを十分に把握し検討していく。

Q 魅力ある蔵書内容となるような図書購入費の確保について伺う。

A 子どもたちに必要な本を整備できるよう予算の確保に努める。

野上 慎治議員(公明党)



- ・子どもが育つ学校づくり推進について
- ・安全安心のまちづくりについて
- ・市民サービスの持続的向上について

スクールバスの導入

Q スクールバス導入のメリット、デメリットについて見解を伺う。

A メリットとしては、登下校時の安全が確保できるということ。連れ去りや不審者、鳥獣被害等のリスクを軽減できる。さらに教育効果として、車内マナーの向上や上級生、下級生の交流など社会性の醸成にもつながると考えている。デメリットとしては、体力面の低下が心配される。

ドローンを活用した災害救助

Q 民間のドローン会社と提携した自治体があり、広い地域を抱える本市においても、災害時にはドローンの活用が災害救助に有効と考えるが、見解を伺う。

A 県内においても被害状況の撮影や画像の提供、緊急物資の搬送などドローンを使った災害対策に取り組んでいる自治体が増えている。本市としても、ドローンの活用について、先進事例を参考にしながら検討する。

避難所のペット対応は

Q 市内には約5千匹の犬がペットとして飼われている。ペットは家族同然という方もいれば、動物は嫌いという方もいる。各避難所で適切に対応できる準備ができていのか伺う。

A 避難所運営マニュアルでは、避難所の建物内のペット持ち込みは、障害者の補助犬以外は原則禁止であり、屋外に専用スペースを確保することになっている。屋外での飼育が難しく建物内に受け入れる場合は、専用スペースを確保し、ケージや専用ケースでのみ受け入れることになっている。今後、広報やホームページなどで、市民に周知してまいりたい。

橋本 礼子議員(かがやき君津)



・東京オリンピック・パラリンピックへの君津市の関わり方について
・福祉行政について
・道路の整備について
・教育行政について

高齢者の生きがいとなる拠点づくり

Q 少子化が進み、2025年には高齢者の人口が1.5倍になると言われている。支える側となるシステムの構築が必要と考えるが、見解を伺う。

A シルバー人材センターをはじめとする関係機関との連携を強化することで、高齢者の生きがいとなる拠点づくりに取り組んでいく。

Q ボランティアセンターでの拠点づくりについて、また、以前提案したボランティアポイント制を介護予防事業の中で展開する考えについて伺う。

A 相談窓口としてボランティアセンターを活用することはとても有効であることから、活動拠点の一つと考えている。ボランティアポイント制の事業化には、検討が必要である。

都市計画道路の進捗状況

Q 現在利用されている迂回路の交通量と久保山北子安線の今までにかかった費用及び完成までにかかる予算について伺う。

A 交通量は、日約1千300台となっている。これまでににかかった費用は約4千万円、完成までにかかる予算としては、約3億円と見込んでいる。

貞元小学校区の整備

Q 若い世代の多い郡地区の通学路の危険箇所の整備について伺う。

A この路線では、歩道の二部が狭くなっている区間があることから、今後、有効な安全対策を検討して、通学路の安全確保に取り組んでいく。

Q 今後の校舍整備の見通しについて伺う。
A 新たな分譲地等の住宅供給による転入も人口増加の要因であるので、情報収集しながら、対応を図っていく。

三浦 道雄議員(諸派・日本共産党)



・行財政運営について
・福祉医療行政について
・地域活性化について
・環境行政について

行財政運営

Q 市民不在の行財政運営では、君津市の将来を見据えたまちづくりはできない。10年余りの鈴木市政で特筆できる施策は。

A 市民協働のまちづくり条例に基づき、市の総合的な構想や計画の策定、重要な条例の制定などを行う際に、意見公募、市民懇談会、ワークショップなど市民参加の手続きを行い、市政運営に生かしている。学校再編、公立保育園の民営化、新学校給食共同調理場建設に関しては説明会を実施し、市民からの意見を施策に反映してきた。今後も、多くの市民がまちづくりに参加できるよう取り組んでいく。

学校再編・統廃合

Q 松丘・亀山地区における学校統合準備室に関する説明会は、予定時間を1時間以上延長するものであった。この説明会での印象について伺う。

A 統合準備室に関する説明会であったが、具体的な準備についてのやり取りが少ない中で、統合には反対という意見が多く出されたのは、事実である。

きみつふるさと物産館

Q 議会で指摘のあった問題点等が改善されているのか伺う。

A 接客指導を徹底し、その後、道の駅の駅長指定管理者の職員、出入業者、利用者からのトラブルや苦情等の報告は、一切受けていない。

環境行政

Q 産業廃棄物搬入後の空車の経路と場内洗浄の状況について伺う。

A 本年7月においては、一日平均で25台が蔵玉林道、19台が坂畑林道を使用している。ダンプカーは場内でタイヤの洗浄をした後、場外に出ていることを確認している。

須永 和良議員(諸派・新風)



・将来に向けた戦略的施策について
・教育行政の改善すべき点について

戦略的な宅地開発

Q 現在市内で行われている小規模開発にはどのようなものがあるか。

A 現在、下湯江地区で31区画が工事中、南子安6丁目、44区画が計画中である。過去5年間で122区画が整備された。122区画という数をどう考えているか。

A 木更津、袖ヶ浦と比べ、少ない。

Q 下湯江も南子安も民間事業者がやってくれたことで市が戦略的に仕掛けたことではない。人口流出を止めるために年間、何戸住宅供給していけばいいか、そのような目標数値を持っているか。

A 現状では目標数値は持っていない。

木造アパートの耐震化

Q 安全な住宅を増やすというのは市民の命を守る観点から重要なこと、そこで震度6で倒壊する危険のある集合住宅を賃貸してはいけないというルールは作れないか。

A 耐震改修については努力義務であり賃貸を制限することはできないと考える。

Q 阪神淡路大震災の犠牲者数を年代別に見ると20〜24才が突出して多い。神戸は学生が多い町だったので古いアパートが倒壊して多くの若者が亡くなった。遺族が大家に3億円超の賠償を求め裁判をした例があり、50%の約1億5千万円の支払いを命じる判決が出た。これは賃貸物件のオーナーには入居者の安全を確保する責任が前提としてあるという判断である。市としても古い木造集合住宅に関して耐震性能を持たせるように政策誘導していくべきではないか。

A 耐震化の必要性を周知していくとともに、国の長期優良住宅化リフォーム推進事業を活用して耐震化の促進をしていきたい。

下田 剣吾議員(諸派・きみつ改革)



・鈴木市長の市政運営について
・安全な通学路にするために
・市役所の経営改革について
・市民への情報提供について
・消防本部の管理運営責任について
・観光、経済振興について
・図書館について
・安全な保育園にするために

小糸周南地区の通学路の安全

Q 小糸の中小小周南で歩道整備やゾーン30指定がされたが、隣の泉にも広げるべきだ。また、国道127号の常代交差点を低学年が渡りきれないため、歩行者の時間を長くする信号等の対策ができないか。

A 泉へのゾーン30の範囲拡大については、君津市通学路安全対策協議会で検討していく。信号機の調整は県に要望していく。

消防団員と家族の負担軽減を

Q 団員の不足が深刻化しているが、最近の出勤回数と出勤手当、県内の状況は。本市は年額6千円支給。昨年度出勤の多い団員は火災出勤11回で、1回あたり約545円。県内は市で異なり、出勤1回の額が高い消防団は7千円で、昨年度17回の火災出勤に11万9千円を支給している。

小糸で千葉テレビが映らない

Q 知事選や市長選等、本市に関わる放送の多い、民放の千葉テレビを視聴できない地域があり、市民には不満がある。改善を要望すべきではないか。

A 千葉テレビ放送株では対策を終了したとのことだが、一部地域の難視聴対策について過度の住民負担が生じないように要望する。

本市だけ遅れる保育園耐震化

Q 南子安保育園と久保保育園が予備診断で構造部で指摘された点はどこなのか。
A 南子安保育園は母屋以外の下屋等、久保は母屋に構造的欠陥危険箇所がある。財源不足で耐震化が進まないなら、袖ヶ浦、木更津、富津市の耐震化率は。木更津市は75%、袖ヶ浦市は80%、富津市は100%、本市が25%である。

船田 兼司議員(かがやき君津)



・子どもたちの充実したよりよい保育・教育環境について
・合併と広域行政について
・君津市地域公共交通網形成計画について

新学校給食共同調理場の運営方針

Q 民間委託等を含めた基本的な考えや、今後の取り組みについて伺う。

A 学校給食共同調理場運営委員会が審議をいただき、教育委員会会議に諮って、調理・洗浄・保管業務などを民間委託することについて、基本方針を決定した。

保育園の民営化

Q 多様な保育ニーズや障害児保育等への対応、定員枠等の拡充について伺う。
A 来年4月に開園を予定している新保育園は、20名の定員枠の拡大を図りながら、一時保育、延長保育に加え、地域子育て支援センター、発達支援センターも併設し多様な保育ニーズの提供に努めていく。

近隣市との合併

Q 生活圏の拡大や価値観の多様化に伴う行政ニーズへの対応、急速に進む少子高齢化、人口減少という時代の変化に対応した行政基盤の強化が求められているが、近隣市との合併の可能性を伺う。

A 近隣市が共通して抱える行政課題に対して広域連携による解決を図り、合併に向けての下地づくりを進めていく。

高速バスの遅延

Q 時間帯によって、また、日によっては、金田バスターミナル周辺の交通渋滞の影響で利便性が悪くなっているように感じるが、金田バスターミナルを経由せずに、柔軟な対応をすることへの見解を伺う。

A 通過に大幅な時間がかかる現状は把握している。利便性の向上のため、現在の交通事情を注視し、交通事業者に対し適切な働きかけを行う。

成果を検証し 次年度予算へ反映

9月11日の本会議において委員12人からなる決算審査特別委員会が設置され、平成28年度君津市一般会計決算をはじめとする各特別会計・水道事業会計決算の認定案件7件が付託されました。議案審査に先立ち、9月19日、消防団第14分団(根本)機庫や君津駅北口交通広場など、7カ所の現地調査を行い、9月20日、21日、22日の3日間にわたり、審査を行いました。

慎重審査の結果、認定第1号及び認定第2号、認定第5号及び認定第6号は賛成多数で、その他3つの認定案件については、全員異議なく、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。



【決算審査特別委員会】

委員長＝鈴木良次

副委員長＝加藤喜代美

委員＝▶下田剣吾▶佐藤葉子

▶石上壘▶平田悦子▶奈良輪政五

▶保坂好一▶須永和良▶池田文男

▶高橋明▶小林喜久男

決算審査 特別委員会の概要

認定第1号 一般会計

問 平成26年度決算において附帯決議がなされた基金の運用方法及び時間外勤務の抑制について伺う。

答 基金の運用方法については、当面、取り崩す予定がない基金はこれまでの運用方法を見直し、運用する期間の延伸や、複数の基金をまとめ原資を大きくするなど最大の運用益が図られるよう工夫を行い運用している。また、時間外勤務の抑制については、平成28年度は26年度に比して時間数が約19パーセント、手当額では1千853万円の減、平成27年度に比して時間数が約17パーセント、手当額では2千427万円の減と時間外勤務全体としては大きく減っているが、個人を見ると人事院が示す年間360時間の超過勤務時間の制限を超える勤務も散見されるため、引き続き時間外勤務の抑制に努めたい。

意見 基金の運用については、附帯決議された内容が生かされ、改善されていることは評価できるものの今後は、金融関係の知識・経験が豊富である主任徴収官等に助言を求めるなどさらなる改善に努められたい。

問 職員研修実施の効果について伺う。

答 平成28年度は新たに、時間外勤務縮減のため、コンサルタントへ委託を行い一定の成果があった。また、本市では初めて民間の大型小売店に職員を派遣したことは、接遇面で大きな刺激となり、接遇能力の向上が図られた。さらに、研修状況の報告会を通し多くの職員に周知できたことは、大きな成果と考える。今後、職員の意欲増進につながる効果的な研修を積極的に取り入れていきたい。

問 業務環境改善事業に関し、具体的な成果について伺う。

答 本年1月よりタブレット端末を24台導入し、2カ月間で23回の会議に使用した。これにより、紙の使用量や印刷費の削減及び業務の効率化が図れた。今後、資料の様式をタブレット端末での仕様に変更し、操作性を改善する等、さらなる効率化を図るよう努めていく。

問 里山インバウンドプロジェクトにおいて、外国人留学生がら出された意見の反映について伺う。

答 外国人留学生を対象にモニターツアーを3回実施した結果、体験型のメニューが好評であり、今後は、本市ならではの体験ができる企画の充実を図っていき



鈴木良次委員長

たい。また、市内の外国語表記の看板が少ないといった指摘があり、外国人を受け入れるにあたってのさらなる環境整備に努めていく。



留学生を対象としたモニターツアー(久留里城)

問 ひとり暮らし老人福祉タクシー事業の効果について伺う。

答 平成28年度においては、利用者が92人であった。ひとり暮らしの高齢者がタクシーを活用することによって、地域と交流を持ち、認知症などの抑制にも役立てられればと考えている。

意見 高齢化が進む中、夫婦で要介護認定を受けている世帯等も増えてきていることから、対象者の範囲を見直し、支援の拡大を図られたい。

問 病児・病後児保育事業の利用者の推移と今後の方向性について伺う。

いて伺う。

答 利用者数は増加しており、保護者から感謝の声を聞いているが、今後は、保護者にアンケートを実施するなど、より利用しやすい環境を整えていく。

意見 周知が不十分であるため、ファミリーサポートセンター事業と絡め、保護者だけではなく、広く市民に対して、情報発信するよう努められたい。

問 不法投棄通報件数に対する見解及びより効果的な対策について伺う。

答 不法投棄監視員や市民から平成27年度は121件、平成28年度は80件の報告があった。山間部でのごみの不法投棄は減少傾向にあり、3年前から設置している監視カメラによる抑止効果があつたと認識している。また、不法投棄が多い場所へ重点的に監視カメラを設置することや、引き続き、夜間パトロールを実施するなど、監視体制を強化することで、不法投棄件数の減少につながるような効果的な対策を講じていく。

問 メディカルスポーツセンターの利用及び管理状況について伺う。

答 利用状況については、研修室やトレーニングジムなど、年間の延べ利用者数は7万人を超え、指定管理者である公益財団法人体力づくり指導協会が自主事業を行うなど、市民福祉の充実と勤労意欲の向上という施設の設置目的に資する効果的な運営が図られている。しかしながら、会議室やテニスコートなどの利用者数は減少傾向にあり、設備の老朽化等を指摘する声もあるため、施設の今後の在り方を含め協会との協議を重ねながら効果的な施設活用が図られるよう運営していきたい。

意見 マスコットキャラクターを有効活用するなど指定管理者と連携を密にしながら協力し、効果的な施設管理及び利用者の拡大に努められたい。

問 有害獣被害防護柵の設置に係る要望状況とその設置実績、また、今後の展望について伺う。

答 要望としては、君津市の外周よりも長い122キロメートルの要望があり、そのうち105キロメートルの防護柵の設置を行ったところである。今までの事業実績として、県の補助事業が始まった平成6年から数値を積み上げると防護柵の総延長は君津市の外周3周分にもおよび総額は4億円を超えるものである。

今までは、畑や田を囲むように防護柵の設置を行ってきたが、現在は、より効果的に被害防止が図られるよう、地域全体を囲むように防護柵の設置を行っている。今後も国・県事業の積極的活用を図りながら地域の要望に応えられるよう事業を継続していきたい。



鳥獣侵入防止柵(金網柵)

問 事業所内保育施設支援事業に関し、施設の開所状況や今後の事業展開について伺う。

答 平成28年度は一事業者に対し助成を行い、平成29年4月に



完成した君津駅北口バスシェルター

開園し、定員40人のところ17人を受け入れ、うち11人が市民という状況であり、平成30年度も受け入れを拡大していく見込みである。

今後の展開としては、現在のところ本事業を活用した新たな施設の開園予定はないが、関係部局が連携し、効果的な情報収集及び周知活動に努めることで就労環境の改善と、待機児童解消に資するよう事業を展開していきたい。

問 君津駅北口交通広場整備事業が完了した君津駅北口地区の今後の展望について伺う。

答 君津駅北口については、都市再生整備計画を策定し、交通結節機能の強化や、交通の円滑化に資するよう整備を進めてきたところである。交通広場駐車場やバスシェルターの設置など、利便性の向上等に寄与したものと考えるが、さらなる機能の強化及び機能の充実のため、北口トイレのバリアフリー化、バス待合時の快適性の向上、商業施設の誘致等、君津の玄関口である駅周辺の活性化がより図られるよう調査・検討を継続していきたい。

認定第3号

聖地公園事業特別会計

問 墓地の第2期整備分に係る販売状況について伺う。

答 17区画のうち残基数が696区画となっており、完売までには10年以上要する見込みである。

認定第2号

国民健康保険特別会計

問 収支改善に伴う、法定外繰入の減少について伺う。

答 一要因として、保険者による医療費適正化に向けた糖尿病等の重症化予防の取り組みなどに対する、交付金の獲得によるものである。

認定第2号

国民健康保険特別会計

意 見 学力向上に資する自宅学習への活用や、プログラミング教育の開始なども見据えながら、他市に先駆けて取り組まれない。

答 タブレット端末の活用は全学校ではないものの、特別支援教育において一部活用しており、今後については、全児童・生徒に向けたタブレット端末の本格導入及び本格導入を見据えた校舎内の※Wi-Fi環境の整備も検討したい。

問 消防団機庫整備事業に關し、建設コストを抑えるための今後の方針等について伺う。

答 第14分団機庫の新築に際し、建物の内外装等を見直すなど、消防団活動に必要な機能を精査した基本設計を作成した。

今後の機庫の更新の際には、この基本設計を元にするこで建設経費の節減に努めていきたい。

問 ICT活用推進事業に關し、タブレット端末の使用実績等について伺う。

答 タブレット端末の活用は全学校ではないものの、特別支援教育において一部活用しており、今後については、全児童・生徒に向けたタブレット端末の本格導入及び本格導入を見据えた校舎内の※Wi-Fi環境の整備も検討したい。



有収率向上のための老朽管更新工事

認定第7号

水道事業会計

問 有収率向上のための基本的な方策について伺う。

答 平成26年度以降は遠方監視システムを活用して、日中及び夜間における配水量の変動を監視することで、漏水の早期発見に努めていること、また、引き続き老朽管の更新を積極的に進めていく。

認定第4号

農業集落排水事業特別会計

問 事業の廃止も含めた今後の方向性について伺う。

答 見直しには、継続と廃止のそれぞれの課題を整理する必要があり、廃止にあたっては、県から受けている補助金の返還、管路の撤去費、起債の繰り上げ償還など費用面での課題が多く、今後は、事業の継続及び廃止に要する負担を精査比較しながら、方向性を示したい。

が、新聞の折り込み広告や、毎年彼岸の時期に行っている現地見学会を、お盆の時期にも実施するなど、販売促進に取り組んでいる。

賛成討論

認定第1号

歳入については、納税者の利便性の向上施策などに注力し、市税徴収率を年々上昇させていることを評価する。

歳出については、業務環境改善事業において、タブレット端末の導入により紙の使用量の削減に加え、職員の業務時間短縮が図られたことなどは評価する。また、市民農園整備推進事業について、事業費に比べ、ヒトやモノの動き、またそれに付随する経済振興に非常に可能性を感じるものであり、今後は、農業振興だけにとどまらない事業展開を期待する。

委員会討論

認定第2号

保険者の努力による交付金の獲得や、ジェネリック医薬品の利用推奨により医療費の抑制に努めるなど、適正な国保運営ができたことは評価をする。

認定第4号

今後の農業集落排水事業の在り方について、事業廃止も視野に入れ、補助金の返還や起債の償還及び事業継続に係る費用の分析等、県との協議をしながら検討を進めているものであると理解する。

認定第7号

平成8年以来20年ぶりの料金改定を行い、経営の健全化を図り、大幅な利益を得られたことは評価できる。その利益を管路の改良工事や漏水量が多い地区の重点補修に充て有収率を向上させることを期待する。

※パソコンやスマートフォンなどのネットワーク接続に対応した機器を、無線でLANに接続すること。

行政視察受け入れ

7/26

妙高市議会が本市を訪問

7月26日に新潟県妙高市議会が「野生鳥獣による被害対策と獣肉処理」について、調査のため本市を訪れました。事業の説明が終わると、多くの質問が出され、本市の取り組みを熱心に研究していました。



10/11

白岡市議会が本市を訪問

10月11日に埼玉県白岡市議会が「カズサとまとガーデンによる地域農業の振興」について、調査のため本市を訪れました。向郷にあるカズサとまとガーデンにおいての現地視察では、企業参入の経緯など、事業者からの説明に耳を傾けていました。



議会本会議を配信中

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。

■配信内容
定例会及び臨時会の本会議

■注 意
配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

■アクセス方法
①君津市トップページの「君津市議会」をクリック。
②左側にある「インターネット中継」をクリック。
③メニューからご視聴になりたいページを選択し、ご視聴ください。
※ご不明な点は、議会事務局 ☎(56)1476へお問い合わせください。



会議録の閲覧について



一般質問の詳細は、会議録で確認いただけます。会議録は、中央図書館、議会事務局で閲覧できるほか、市議会のホームページでご覧いただけます。

※第3回定例会の会議録は、11月中旬から閲覧できる予定です。

スマートフォン用アプリ「マチイロ」で「議会だより」をご覧いただけます。



マチイロ

アプリをダウンロードし、「お住まいの地域」で君津市を選択すると、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。

Android用
スマホ・
タブレット



ios用
iPhone・
iPadなど



※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担になります。



平成29年

君津市議会第3回定例会 議案等審議結果

出席議員全員が賛成した議案、発議、陳情(全会一致)

◆市長提出議案

議案番号	件名
議案第1号	君津市個人情報保護条例及び君津市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	君津市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	君津市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	君津市立幼稚園設置条例を廃止する条例の制定について
議案第7号	千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
議案第8号	権利の放棄について
議案第9号	交通事故に係る損害賠償の額の決定について

議案番号	件名
議案第10号	平成 28 年度君津市水道事業会計利益の処分について
議案第12号	平成 29 年度君津市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）
認定第3号	平成 28 年度君津市聖地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	平成 28 年度君津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第7号	平成 28 年度君津市水道事業会計決算の認定について

◆市長提出追加議案

議案番号	件名
議案第13号	監査委員の選任について

※議案第13号については、地方自治法第117条の規定により、機員議員は除斥のため、採決に加わっていません。

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	鈴木良次	保坂好一	高橋明	小倉靖幸	三浦章	小林喜久男	鴛田剛	加藤喜代美	真木好朗	池田文男	安藤敬治	石上壘	松本裕次郎	平田悦子	磯貝清	佐藤葉子	野上慎治	榎本貞夫	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	下田剣吾	須永和良	三浦道雄
議案第2号	君津市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第3号	君津市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第11号	平成 29 年度君津市一般会計補正予算（第 2 号）	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第1号	平成 28 年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第2号	平成 28 年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第5号	平成 28 年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第6号	平成 28 年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

◆陳情

議案番号	件名	議決結果	鈴木良次	保坂好一	高橋明	小倉靖幸	三浦章	小林喜久男	鴛田剛	加藤喜代美	真木好朗	池田文男	安藤敬治	石上壘	松本裕次郎	平田悦子	磯貝清	佐藤葉子	野上慎治	榎本貞夫	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	下田剣吾	須永和良	三浦道雄
陳情第4号	JR 内房線・久留里線の利便性及び安全性向上に関する陳情	○採択	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○	○
陳情第6号	軍司家より君津市に寄贈された新井白石直筆の書作品ほか 1 点を本市の指定文化財とすることを願う陳情書	○趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

◆議員提出議案

議案番号	件名	議決結果	鈴木良次	保坂好一	高橋明	小倉靖幸	三浦章	小林喜久男	鴛田剛	加藤喜代美	真木好朗	池田文男	安藤敬治	石上壘	松本裕次郎	平田悦子	磯貝清	佐藤葉子	野上慎治	榎本貞夫	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	下田剣吾	須永和良	三浦道雄
発議案第5号	JR 内房線・久留里線の利便性向上を求める決議について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○	○

※議長は、地方自治法第 116 条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対 除：除斥



全議員参加のもと開催した講演会

く業条途は、ま統一の例き、ごとい定に「業を項にに盛に決の進め作

議会基本条例策定特別委員会は、本年、2月21日に特別委員会を設置後、会議を4回にわたり開催し、協議を重ねてきました。
全4回の会議の中では、条例制定までのプロセスを確認し、委員全員から、盛り込む条項の意見聴取を行いました。
また、9月4日には市原市の安藤代表監査委員を招き、「議会基本条例策定にあたって」という題目で講演いただきました。今後、年内を目途に盛り込む条項の決定作業を進めていく予定です。

議会基本条例策定に向けて



音事協の森「記念植樹」

9月9日、山梨県北杜市「音事協の森」で、植樹祭が行われました。植樹には、サラサウツギやリョウブのほか、10年目の記念として、本市から寄贈したミツバツツジの苗木が植栽されました。
爽やかな秋晴れの中、北杜市のみどりの少年少女隊等が参加し、森づくりに汗を流しました。

友好記念植樹



会議日程を配信しています



定例会・常任委員会・特別委員会・先進地視察報告会の日程をホームページで配信しています。なお、配信する会議については、傍聴することができます。

会議日程については、議会ホームページの最新情報及び会議のお知らせよりご確認ください。

※会議の日程、開会時間は事前の通知なく突然変更となる場合がありますので、傍聴にお越しの際はあらかじめ、議会事務局(☎56-1476)までお問い合わせ願います。

きみつ市議会だより編集委員が新しく選任されました



委員長 池田文男 副委員長 高橋明
委員 保坂好一、橋本礼子、三浦章

議会の情報をわかりやすくお伝えできるよう、皆さんの視点に立った読みやすい紙面作りを心がけてまいります。
引き続きご愛読をいただきますようお願いいたします。

第4回定例会 11月30日(木) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1
TEL.0439-56-1477
HP／<http://www.city.kimitsu.lg.jp>

君津市 検索